

設問題などで論議

(一般質問)



高齢者医療

問 ①当町に関わりの深い東陽病院と第二松丘園では、高齢者医療に関してどのような連携をとっているのか。②在宅で介護されている高齢者の体調が急変したときの対応は。

答 ①東陽病院は、横芝町、光町、野栄町の3町で組合運営している医療機関であり、第二松丘園は、社会福祉施設法人九十九里ホームが経営する特別養護老人ホームである。第二松丘園には、多くの高齢者のみなさんが生活しているが、日々の健康管理はもとより、病気やけが等の医療に関しては、東陽病院が全面的に協力する体制となっている。医療内容については、入所者に対し週二回、定期的な回診を行なうとともに、カルテに基づいての健康管理と病気の予防等に努めている。このほか、短期入所及び日帰りの介護サービス利用者などに対しては、緊急時の応急処置等も東陽病院が協力するなど、緊密な連携のもとに社会福祉サービスを展開しているところである。②町内における在宅医療については、平成9年度から東陽病院で訪問看護を実施しており、内容としては、医師の指示に基づきながら、看護婦などが各家庭に訪問して

病状の観察や家族への介護指導等が行われているほか、必要に応じては、医師による訪問診療や往診なども行なっている。今後は、長寿社会の進展に伴い、これら在宅医療は大変重要になるものと認識しており、組合運営の中でさらなる協議を重ねながら、在宅医療体制の充実を図りたいと考えている。



緊密な連携のもとに社会福祉サービスを展開している東陽病院と第二松丘園

路線バスの運行

問 路線バスを生活の糧として

利用している町民も数多くいるが、当町における現在の路線バスの運行状況並びに今後の運営等について伺いたい。

答 町内において運行しているバス路線は、現在3路線であり、そのうち多古水戸線と蓮沼線では、すでに千葉交通の自主運行が廃止されている。多古水戸線については当町と多古町が、蓮沼線については当町と蓮沼村とが運行距離案分によって運営費の不足分を負担しながら廃止代替バスとして共同運行しているところであり、運行本数については、多古水戸線が一日四往復、蓮沼線が一日八往復である。また、残りの1路線の栢田浜線については、平成10年度までは生活バス路線ということで、国・県の補助対象路線として維持されていたが、乗車人員の関係などから、補助対象から外されることになってしまい、千葉交通は自主運行路線から撤退する旨を示している。このようなことから、町では、八日市場市や光町、野栄町とともに路線の維持についての協議を重ねてきたところであり、平成11年度以降も共同運行しようという方向で話がまとまっている。今後この3路線については、関係各市町村とともに住民生活の足として路線の維持に努めてまいりたいと考えている。

介護保険

問 ①平成12年に始まる介護保険実施に向けての準備状況は。

答 ①平成12年4月から、保健福祉課内に介護保険係を設置し、準備事務を進めているところであり、すでに介護保険事業の運営上極めて重要な、要介護者等の実態調査の集計がほぼ終了したところである。このほか、要介護認定等の試行的事業の実施や、県と共同して行っている介護サービス供給量調査等、円滑な保険運営に向けて鋭意取り組んでいるところである。②介護保険制度では、介護サービスを受けた場合、その費用の割を負担してもらうことになっているが、一割の定率利用負担額が高額になる場合は、負担の軽減を図るために、高額サービス介護費の支給制度が導入されることになっている。具体的な支給要件、基準額等については、今後、低所得者に対する配慮等も含め、政令あるいは省令で定められることになっている。③介護保険係は、現在、専任一名、兼任二名の職員を配置して準備事務を行なっているが、平成11